編集後記

『語文と教育』第三十三号をお届けいたします。

本号は、国語学習個体史研究・国語科教材分析を含む国語科教育に関わる論考六編と社会言語学の研究論文一編で編集しました。皆様方のご批正を賜りましたら幸いです。

さて世の中は、平成の時代から令和の時代へと大きく変化しました。本学大学院もその姿を大きく変化させ、これまでの国語コースは教職大学院の国語科教育実践分野、国語コースに置かれていた日本語教育分野は修士課程・グローバル教育コースの日本語教育・日本文化分野として、それぞれ独自に活動し始めました。

新しい大学院で新規に開設された授業科目で、国語・日本語に関する専門性と、国語科教育・日本語教育の実践力を融合させた授業を展開するために、教員一同、これまで以上に頭を使って取り組んでいます。

本学会も創設から三十五年となります。今後も夏に開催される学会（研究発表会）と機関誌『語文と教育』を通じて、修了生・卒業生等会員の直面する教育課題の解決に向けて、皆さんとともに進んでいきたいと考えています。

会員の皆様方には、本学会へのご支援をお願いするとともに、学会（研究発表会）・『語文と教育』誌を育てるために、ますますの御発表とご投稿をお願いしたいと思います。

最後になりましたが、この一年も多くの大学・機関・研究会等より本学会宛に紀要・会誌等の研究資料をご寄贈いただきました。大切に保管し、教育・研究に活用させていただきます。

（原記）

語文と教育　第三十三号

令和元年九月三十日印刷
令和元年九月三十日発行
（非売品）

編集人　鳴門教育大学国語教育学会
発行人　鳴門市鳴門町高島字中島七四八
（〒七七二－八五〇二）
鳴門教育大学大学院
国語科教育実践分野内
鳴門教育大学国語教育学会
会長　小島　明子
印刷所　㈿徳島印刷センター